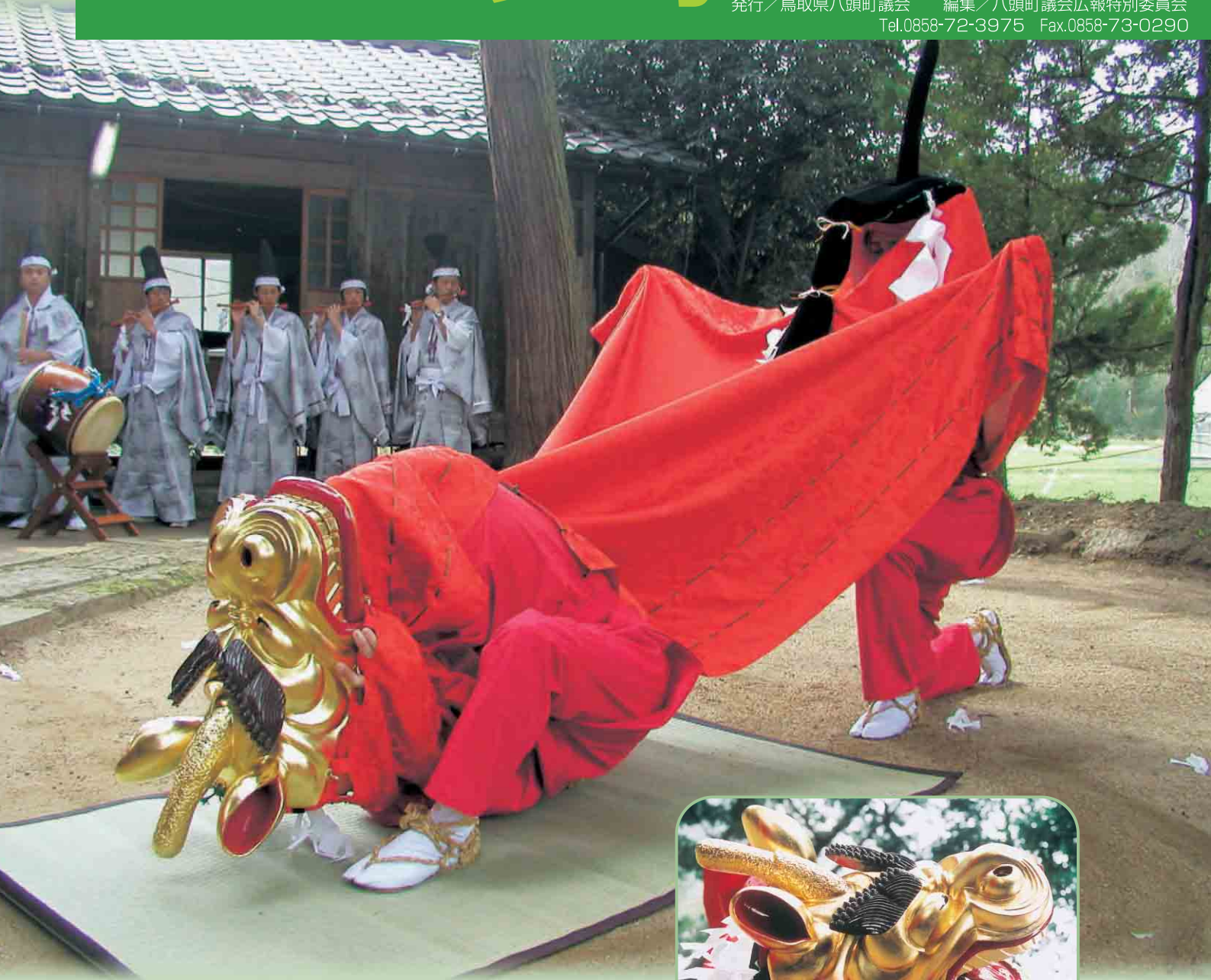




やすずみ町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報特別委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-73-0290



文化庁の補助事業として用具等が新調された
鳥取県の無形民俗文化財 澤神社（才代）の麒麟獅子舞

もくじ

3月定例会.....	2
町政に対する一般質問.....	7
常任委員会報告.....	20
みな様の声.....	22

第5号

(平成18年5月)

平成18年度一般会計予算

89億8,700万円

昨年度より約7億円(7.3%)減

3月
定例会

3月9日～24日

第2回

平成一八年度当初予算等を審議する三月議会定例会は、三月九日から二四日までの一六日間の会期で開催した。一般会計予算案等町長提出議案五一件、議員発議案五件を慎重審議し、原案どおり可決した。

一般質問では二二人の議員が町政の課題について質問、多くの町民の方が傍聴された。

陳情は一一件を審議、二件を採択とした。

一般会計予算は、総額八九億八、七〇〇万円で、昨年度当初予算より七億六〇〇万円の減となっている。

昨年度と比べると、歳入面では町税が家屋の評価減などもあり四九〇万円の減。地方交付税が三億三、三〇〇万円の減。国県の支出金が三億二千万円の減。逆に基金からの繰入金が三億二千万円の増と、大変厳しい状況となっている。

これに伴い歳出でも、教育費が二五・二%減、商工費が二一・五%減、土木費が七・二%減、総務費が六・七%減となっている。

予算案に対する
質疑の概要

配布物委託料 六三万円
納税奨励金 一、七九一万円
解放同盟補助金 一、七七四万円

パイケミ支援費 一三九万円
議員研修旅費 一四〇万円

区長配布物は職員が持つて行くべきだ。

職員の勤務時間をさきたくない。現状の対応でいく。

納税奨励費と支払い通知書を郵送した場合の差額は。

納税奨励金の意味合いも考えて欲しい。

部落解放同盟の補助金は、行政改革に逆行しないか。

一七年度削減後の額だ。

パイケミ農法の将来的な展望は。

三年の普及期間が過ぎ大幅に減額した。

韓国横城(ヘンソン)郡訪

平成18年度 予算総括表

会計区分		予算額
一般会計		89億8,700万円
特別会計	国民健康保険	16億8,600万円
	簡易水道	2億9,050万円
	住宅資金	4,420万円
	老人保健	21億6,600万円
	公共下水道	4億6,630万円
	農業集落排水	8億4,000万円
	介護保険	14億3,840万円
	宅地造成	7,700万円
	町営墓地事業	170万円
	老人居室・障害者住宅整備資金	55万7千円
	上私都財産区	70万3千円
	市場・覚王寺財産区	3万5千円
	上津黒・下津黒財産区	11万5千円
	篠波財産区	5万5千円
特別会計予算合計	70億1,156万5千円	

問の旅費は、議員全員分が計上してあるが、代表でよいのでは。

答 交流初年度であり、代表といたうことではなく予算計上した。

問 一七年度最終予算総額から比較すると、一三億円からの減額予算となっている。厳しい財政の中、緊縮予算で行くという意思表示か。どうにも予算が組めなかつたということか。他に意図があるのか。

答 基本的には総合計画に沿って計上したいと思っている。船岡小学校の体育館建設費三億円は本来一八年度の予定だった。何かの意図を持つての予算ではない。

問 滞納繰り越しのうち、町民税で二〇〇万円が収入計上されているが、昨年より少ない。滞納額、世帯数等昨年に比べてどうか。

答 件数・金額とも増加の方向。日韓交流事業は子どもも交流事業を除いて六〇〇万円組んである。優先順位の高い事業

として挙げたのか。財政事情のなか、必要性、メリットの見解は。

毎年というのではなく、八頭町の節目の年として計上した。

中央中学校校舎の建替えは、統合問題も絡んで町民の合意ができたと言えない。町長の理解は。

教育を考える会、議会の特
別委員会など結論をいただかない中での予算だが、建替えるべき話と思っている。

三位一体改革の影響は。

補助金・交付金等で一億九千万円ばかり減額になっている。

交際費が町長八〇万円、議長六〇万円、教育委員会三〇万円ある。使い方として例えば農業委員会に一万円出しているが、町の身内の団体であり、全てが行革対象という以上、止めるべきだ。

基本的に言われるとおりだ。ほとんどが慶弔費だが補

助金を出している機関については配慮する。

賛成討論 川西議員

国際交流の議員全体の訪韓、配布物の委託、納税組合奨励金、解放同盟補助金、五級の身体障害者の方の医療費助成の打切り、パイケミ農法への肩入れの予算化に反対する。

賛成討論 森山議員

七・三減の緊縮予算。大変痛みを伴った予算と見るが、これから集中改革プランも示されるということであり、賛成する。

賛成討論 池本議員

極めて厳しい財政事情の中で中山間地域直接支払い事業として緩傾斜地対象事業、さらに集落営農の新対策がかなり広い地域にわたり実施されることを評価し、賛成とす

議決 原案どおり可決

発議 一般会計予算に
対する附帯意見

提出者 池本議員

中央中学校建設費として一億三、九七五万八千円が計上されている。町内三つの中学校の生徒数の減少が見込ま

れ、統合の意見も出ている。重要かつ大型事業であり、関係者の議論を十分踏まえ、町民の合意を得て事業の推進に努めることを求める。

問

附帯意見の法的拘束力は、どの程度と考えるか。

答 池本議員

権限をもって執行部に及ぶものではないが、議会の意思表示として重いものはあろうかと思う。

反対討論 河村議員

関係者の議論を十分踏まえることは、非常に大事なことで。町民の合意を得るのに十

数年もかかっていたら、国の財政やいろいろの立場から、計画している学校建築もできなくなるではなからうかとの思いで平成一八年度に文部科学省に対して手続きを進めるべきとの立場から、附帯意見に反対する。

賛成討論 矢部議員

改築問題は、現在、議会特別委員会、教育を考える会等での議論が始まったばかりで、教育のあり方、学校のあり方、財政問題等々、について町民の理解を得るための議論は、緒についた所だ。重要かつ大型事業で合併のメリッ

平成18年度一般会計予算と主な事業

議会費	1億1,693万円 (1.3%)
総務費	11億7,321万円 (13.1%)
非常勤特別職報酬(区長手当)	592万円
男女共同参画推進費	98万円
国際交流事業費	519万円
知事・県議会議員選挙費	796万円
民生費	22億844万円 (24.6%)
敬老会事業	895万円
隣保館運営費	1,942万円
老人クラブ支援事業	622万円
障害者等住宅改良助成事業	67万円
衛生費	8億8,082万円 (9.8%)
予防接種事業	2,822万円
ゴミ収集委託料	1億5,826万円
東部広域ゴミ処理負担金	1億7,917万円
し尿処理因幡環境負担金	2,480万円
老人保健検診委託料	2,395万円
農林水産業費	11億760万円 (12.3%)
20世紀梨再生促進事業費	148万円
姫路公園施設管理運営費	577万円
竹林公園管理運営費	763万円
ふるりの森管理事業	476万円
商工費	1億1,093万円 (1.2%)
商工振興運営補助金(3商工会)	1,350万円
観光協会補助金	127万円
土木費	6億7,206万円 (7.5%)
除雪対策費	2,213万円
消防費	3億3,303万円 (3.7%)
防災無線管理費	1,184万円
東部広域負担金	2億9,463万円
教育費	10億2,012万円 (11.3%)
外国青年招致事業費(2名)	950万円
船岡小グラウンド中庭工事費	5,451万円
中央中学校用地取得費	9,017万円
中央中学校用地造成費	4,795万円
地区公民館運営費	1,478万円
図書館費	3,370万円
公債費	13億3,526万円 (14.9%)
地方債元金償還	11億2,276万円
地方債等利子分	2億1,250万円
その他	2,860万円 (0.3%)

(注) %は、一般会計総額に占める割合

トを生かせる最大のチャンスだ。町民挙げての幅広い議論と町民合意の形成を図ることが必要で提案に賛成する。

反対討論 前土居議員

建築のための準備として用地の購入なり、用地工事を行うのは当然だ。確かに特別委員会では学校問題は議論しているが、用地工事が一〇〇%問題だとすれば、平成一八年度一般会計予算は、否決されていたのではないかと、この理由から意見書に反対する。

賛成討論 鎌谷議員

十分な財政効果をねらって予算執行に留意していただきたいことはもちろん、中学校の問題では、財政の見直しも示されていない状況である。各地域の住民に対する理解を深めることに努力をいただきたいという議会の声を発揮したいため、賛成する。

議決 否決

条例改正・制定

本定例会に二二件の条例、規約の制定・改正・廃止案が提案され、いずれも原案のとおり可決した。

主な改正等は、次のとおり。

表彰条例の改正

これまで満百歳に達した者に対して敬老の日に行っていた長寿表彰を、満百歳になった時点で表彰することとするもの。

行政区長設置条例の改正

八東地域、新宿団地を行政区に加えるもの。

長期継続契約締結に関する条例の制定

商慣習上複数年にわたり契約をすることが一般的である物品の借入れ契約、物品・庁舎等の保守その他の維持管理に関する役務の提供を受ける契約について、五年以内の長期契約ができることとするもの。

職員の給与5%カット 人事評価制度導入

職員の給与に関する条例の改正

国の人事院勧告にもとづき、給料表水準の平均四・八%切下げ改定、五段階区分の勤務成績評価により昇給する人事評価制度の導入、平成一八年四月一日から同一九年三月三十一日までの間は、切り替えとなった新給料表から五%カット支給などを行うもの。

問

人事院勧告にもとづく四・八%、それから五%のカットは、年間総額、職員一人当たりでそれぞれいくらか。

答 平木町長

総額で一億二、四八〇万円。一人当たりで四四万三千元（退職手当も含む）。

問

昨年六月議会で旧三町の給与格差是正について協議中だとのことであったが、どうなったのか。

答

今、組合と話を進めている。

問

管理職手当を二〇%カット

をお願しているとのことだが、どうなったのか。

答

今年一月から三月まで管理職手当を二〇%減額しており、四月からは五%カットするので、管理職手当の減額は、元に戻す。

問

人事評価制度における公正な昇給の仕組みとはどのようなものか。

答

評価制度は、全国的規模で実施されるもので基準もあるが、評価は人がするもの。公平な評価ができるよう透明度を増していきたい。

問

職務分類表では、総括課長は、六級となっているが、他の課長に代わったら五級等になるのか。

答

分類では六級はあるが、現在は適用していない。課長は、あくまで五級で極端な話だが、係長に降格されると三級に戻る。

問

昇給・昇格の級別資格基準はつくるのか。

答

作成したい。

問

特別昇給の枠をどの程度想定しているのか。七五%の人を標準といわれるからには、二五%に可能性があり、今までの一五%を越えるようになるのではないかとという危惧があるが。

答

特別昇給という考えはない。あくまで評価で決まる。制度の中で一五%を目安したい。

職員の育児休業等に関する条例の改正

職員の給料表を改正することに伴い育児休業者の昇給等について改めるもの。

固定資産税の納期の特例に関する条例の改正

固定資産税の評価替えの年度に当たり、平成一八年度分の固定資産税の第一期分の納期に限り、五月一日から同月三十一日までとするもの。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

町は、法人事業所から出される廃棄物の収集を行わないで事業所が収集業者と契約し、処理することとするもの。

放課後児童クラブ施設条例の制定

郡家地域への放課後児童クラブ施設の設置に伴い、施設の管理及び委託、利用内容等について定めるもの。

障害者等医療費助成条例の改正

身体障害者手帳五級の交付を受けた者でも所得税が課税されている者は、医療費助成の対象としないとするもの。

この改正によりカットされる額は、微々たるものだが、一〇分の五の助成をやめてしまふ町長のお気持ちには。

八頭町の身体障害者の方とも一緒になって考えた結果、財政的な問題もあるだろうからと協力をいただくことになった。

役員の方のみの意見で、対象者の方の意見を聞かないということとは、弱者いじめにならないか。

本当に働かれています非課税部分でないところの所得税が課税される方が対象となっている。

反対討論 川西

議員

対象者が五人、削減額は二万円。福祉対策を充実していかねばならない八頭町にとって、このようなやり方は、承知いたしかねる。

賛成討論 山本

議員

所得税が課税されている人ということと賛成する。

介護保険条例の改正

平成一八年度から同二〇年度の介護保険料を定めるもの。(詳細は、「広報「やず」五月号参照」)

高齢化社会がますます進む中で保険料の見直しは、施設の充実もあり、高齢者だけの家庭も多い中で、まだ保険料は上がると思ふ。

八頭町で介護保険料の助成、減額をされる考えはない

八頭町で介護保険料の助成、減額をされる考えはない

指定管理者制度導入

か。

国民健康保険も同じだが、今の制度の中でやっていく方向を持っている。単町で実施することは考えていない。



指定管理者制度導入予定のふるりの森

福祉センター条例・フルーツ総合センター条例・ふるりの森条例・姫路公園条例・竹林公園条例・体験農園等施設条例の改正
指定管理者制度導入に伴う必要な条項の改正を行うもの。

町営住宅条例の改正
国の住宅施行令の改正により入居基準を改正するもの。

公民館条例の改正
基幹公民館三館、地区公民館九館の設置 公民館運営

審議会の組織・運営方法の改正などを行うもの。

基幹公民館と地区公民館、更に集落公民館もあり、戸惑いも生じている。その位置づけを整理してお示しいただきたい。

地域の均衡ある社会教育の発展を図りたいとの思いからの提案。地区公民館は、地区の社会教育活動をやっている、基幹公民館は、その地区公民館を後押ししていく。

行財政改革の中で、多少縮小の方向でいくのもひとつの方法かと思うが、どうか。

高齢化社会を迎える中、小学校区ぐらいの範囲でより住民が参加しやすい公民館活動を期待している。

地区公民館と地域との密着には、非常に賛成している。地区公民館への主事の配置

地区公民館を充実

は、どのように考えているか。

船岡、郡家には、地区公民館に主事が配置されていた。これから新設する八東地域の地区公民館にも主事を配置したい。

基幹公民館は、社会教育法における公民館の設置基準では、どういう位置づけになるのか。

社会教育法の中では、基幹公民館を置いてはいけないとか、部落公民館でなければならぬとかの決まりはない。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正
人権教育推進員・生活相談員・隣保館長・文化センター所長・同和地区福祉推進員・図書館長の報酬の引下げ、一部の地区公民館主事の報酬の引上げなどを行うもの。

文化財保護条例の改正
国の文化財保護条例の改正により文化財に「文化的景観」を加えるもの。

辺地総合整備計画を策定

辺地に係る

総合整備計画

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律にもとづき、公共的施設の整備計画が提案され、これを原案のとおりに可決した。

大江、西谷、見槻及び志子部、姫路及び明辺、落岩、福地、野町、麻生及び山志谷の八地域を対象とする。

各地域の実情に即して防災無線電話整備事業、光ファイバー敷設整備事業、農村公園、道路整備事業、簡易水道整備事業などを計画している。

平成一七年度

一般会計補正予算

●歳入歳出

九、四〇四万円減額

主な事業

町営住宅財産購入費

三、二五五万円

船岡小学校体育館建設費

二億五、五〇〇万円

陳情の審査

(採択としたもの)

件名	陳情者
パートタイム労働者の均等待遇実現を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁
陳情書(ガードレールの設置について)	八頭町船岡上町 区長 岩成 憲政

(一部採択としたもの)

件名	陳情者
障害者が必要な福祉サービスを受けるための条件整備についての陳情書	福祉充実の会 代表世話人 上山 俊二 他1名
安心できる介護保険制度を求める陳情	「軍事費を削って、暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村口 徳康 他1名

(趣旨採択としたもの)

件名	陳情者
陳情書(八頭町母子会の補助金について)	八頭町母子会 会長 谷口美佐子
<p>反対討論 前土居議員 現在の町の予算を見た場合、ただ増額してほしいというだけで増額するのは、問題である。</p> <p>賛成討論 川西議員 零細な団体の補助金は、減額しないで現状維持であるべきでは。</p>	

(不採択としたもの)

件名	陳情者
「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情	日本国家公務員労働組合連合会 中央執行委員長 堀口 士郎
最低賃金制度の改正を求める陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁
住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情	
日本郵政公社の集配局廃止計画の中止を求める意見書提出について	平和・民主・革新の日本をめざす鳥取県の会 事務局長 田原 勇 他4名
「市場化テスト法案」に関する意見書採択の要請	自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則
土地返還請求に関する陳情書	日笠 武雄

一般質問

三月議会定例会で、町政に對する一般質問は、一四日、一五日の二日間行い、二人の議員が登壇。行政運営全般に對して質問を行い、町行政執行の基本姿勢をただした。



矢部 博祥 議員

急がれる行財政改革の進め方は

町長 効率的で効果的な行財政改革の再構築が必要

問

役場全職員からの改革案の募集、町民からの公募も検討すべき。ご所見は。

答 平木町長

職員等で検討した事柄も行政改革推進委員会で審議する予定。

問

数値目標、節減金額、サービス向上指標等の改革目標を設定すべき。ご所見は。

答 平木町長

それも一つの手法かと思つ。

問

鳥取県内の一五町村で収入役を配置しているのは八頭町のみ。来年度から収入役廃止の法案が国会に提案されている。それでも必要かどうか。考えに変わりはないのか。

答 平木町長

支所長は、現場のトップで

問

支所長は、現場のトップで



地域の交通を支えるクローバーバス

いかに住民に近いサイドに立つかが大事。その意味では、課長兼務が望ましい。ご所見は。

答 平木町長

支所長は、課をまとめ、自ら先頭に立つて現場に向いていく。私も住民の中に溶け込む支所長であるべきと考えている。

問

職員の希望退職を募る制度については、県内の合併した七町のうち、導入の方向になるのは八頭町だけ。世の中の流れと違った形ではないか。

答 平木町長

四月以降には、希望退職を募りたい。特別な加算手当は無理だろうと考えている。

問

若桜鉄道ありきでこれにし

がみついているという問題ではなく、八頭町の生活交通をどう確保していくかが大事。

答 平木町長

もっともだと思つ。地域によって若桜鉄道は絶対いるとか、余り関心がないというようにいろいろ意見がある。

問

若桜鉄道ありきでこれにし

生活交通確保は、利便性とコスト比較で

町長 交通弱者の方の交通手段
これからの課題

交通弱者の方の交通をどうして確保していくかがこれからの課題だ。

問

八頭町や福祉協議会所有のバスの稼働率は、どのくらいになるのか。福祉バスの話もある。温泉やプール、公民館活動などでもっと柔軟に利用する方法はないのか。

答 平木町長

八頭町には、スクールバス五台を含めて、九台のマイクロバスがあり、概ね週四日程稼働している。社会福祉協議会には四台ある。

問

福祉バスを走らせるとなると既存バスは、おそらく撤退されると思ふ。道路運送法では、日交は路線バス、クローバーバスは貸切バスの位置づけであり、競合しては、認可が取れないなどの課題がある。

答 平木町長

そういうことを含めて考えていきたい。

問

その他の質問

町長就任以来の行政運営の検証

平成一八年度の施政方針及び予算と総合計画

公民館サークル活動の支援

平成一八年度の施政方針及び予算と総合計画

公民館サークル活動の支援

公民館サークル活動の支援

公民館サークル活動の支援

公民館サークル活動の支援

公民館サークル活動の支援

公民館サークル活動の支援

八頭町の民力と 産業構成について

町長 関係機関との連携を
持って取り組みたい



森山 大四郎 議員

問

八頭町のもつ産業・消費・生活環境など地域住民のもつエネルギーを総合的に指標を示す中、わが町の民力を一つの判断基準としてとらえ、過疎の進行に歯止めをかける施策を打ち出していかなければならない。

特に生活に密着している小売業の数が、年々危機の状況に危惧する。食料品の調達も今後は益々難しくなってくると思う。

町がイニシアチブをとって抜本的な産業構造、産業集積を図ることが急務だと考えるが。

答 平木町長

八頭町の民力水準は、県下一九市町村中一九位であるが、民力指数による総合指数は七位、産業活動指数で一位、消費関連指数では六位となっている。

その中で農林業・商工業の産業の振興は町政発展のためには必要不可欠である。

商工会では町内購買力を高める運動の展開、既存企業の企業基盤強化と振興を図り、企業誘致対策など商工会と一緒に取り組んでいく。
ご指摘の小売業の店舗数の

減少については、今後、J・A・商工会・町が一体となった体制づくりの中で連携を深めていきたい。

消防行政の 課題について

町長 当面は旧町の地域防災
計画で対応

問

消防行政については、現在調整・検討がされているものと思われる。町民の生命・身体並びに財産を守る責務はこれからも益々大きくなっていくものと思われるし、災害が発生した時の迅速な対応また危機管理のマニュアル作り、啓発の方策等が求められる。そこで、防災行政無線、住民避難、危険地域対策本部の関係についての現状と課題は。

答 平木町長

地域防災計画は国民保護計画との兼ね合いにより作成がずれ込んでいるが、旧地域の計画で対応している。情報伝達手段としての防災行政無線が船岡地域では一八年、八東地域では二二年経過している。平成一八年よりCATVを



町消防団出初式
(八東総合運動公園屋根付多目的広場)

含めた情報化検討委員会を立ち上げ協議していきたい。

問

町消防団の活性化策について(団員の確保、処遇など)

答 平木町長

現在、一・二・三名の定員の中、一一九名の実団員が在籍している。飛び抜けての厚遇ということではないが、若年層の円滑な世代交代も課題である。

問

女性の団員と女性を中心とした自主防災活動は。

答 平木町長

一八年度は、女性の消防団の募集もしていきたい。

その他の質問

●人口交流につながる町づくり



西尾 節子 議員

町職員にかかわる問題

町長 希望退職を募る

問

退職と採用について、肩たたきをしてはどうか。採用も年に一人から二人は優秀な人を採用すべき。コネで採用していると思っている人がいるが、試験方法は。

新聞に大学卒の給料が載っていたが、地方銀行が約二十万円高い、ある程度よくしないと優秀な人が逃げる。

ラスパイレス指数が高かったことについての見解と、図書館司書の位置づけと給与について、女性の管理職登用が少ないが。

答 平木町長

希望退職を募り、退職勧奨扱いとする。採用試験は全国町村会が行う一次試験に合格した人に、各町長（郡内）が複数で面接する。公平・公正な中で採用が決まっていく。民間との初任給の格差は、長いスパンで考えた場合、差はないんじゃないかと思う。図書館司書の待遇面は考えていくべきだろう。女性の管理職は考えていきたい。

食育と学校給食について

教育長 郡家地域のご飯持参は当分続く



ランチルームで(中央中学校)

問

郡家地域だけが炊飯施設がないが、来年度は。将来の見通しは。

地産地消と食育の進め方について、一二月に郡家公民館で「地産地消フェスタ二〇〇五・地域でつながり食の学校給食」が開催された。

講演は、香川県滝山小学校の食育実践記に関する話であった。他県の実例に学び実践してみようという気持ちは。

また、町内の学校の優良事例は。

答 西山教育長

炊飯施設を調理場に設置す

る場所がない。当分の間は現状で行きたいので理解を。

食育の進め方については、町内八つの小学校、三つの中学校すべての学校において、食育の重要性、地産地消の大切さを認識し、基本的には総合的な学習時間において指導を行っている。

実践活動としては、芋つくり、田植え、稲刈りなどの体験学習をすることにより、地産地消の大切さ、生産者の苦労等を学ばせている。講演は聞いていなかった。

その他の質問

- 肺炎予防注射
- 成人式の反省は

土・休日の八東保健センター プール利用は

町長 皆様の意見を参考にして検討したい



山本 弘敏 議員

問

昨年の六月議会で、同僚議員からも質問があった八東保健センタープール利用者のマイクロバスによる送迎の件ですが、町長は「対象地域が八頭町全域に広がりこれをカバーするだけの余力がないからできない。」とのことであつた。

船岡地域の二、三の住民から要望があつた。それは「自分が車を運転して行くことができない人のために、土曜日、休日も利用できないか。」とのことであつた。理由は「主人や子どもたちの休みの日に送迎してもらえないから。」とのことであつた。また送迎だけでなく、一緒に利用できるのではないかと、町長のお考えは。

答

平木町長

温水プールは多額の維持費がかかるので、例えば利用の少ない平日の開放時間を制限し、その分を土曜日、休日のプール開放に充てることなども一つの方法だ。

貴重な施設でもあり、今後多くの方に利用していただくためには、どうしたらよいかということも含め、皆様のお考えなども参考にして検討したい。



八東保健センタープールで健康づくり

八頭町スクールバス運行と 中学生の通学方法

町長 青パトの巡回及び補助制度の見直しを検討中

問

八頭町では、二台は郡家地域の小学校の登下校に、また一台は中央中学校の登下校に使用している。小学生の場合は最近の下校時の誘拐殺人事件など、多く発生している現状から見ると、運行距離を二キロメートル以上はもとより、許されることなら、一キロメートル以上でも範囲を広げても良いのではないかと思う。しかし、見直しする必要があるのではないかと思われるのが、中学生の場合ではないか。一年生に入学した時自転車通学の生徒で、同じ八頭町内の中学生でありながら、中央中学校の生徒には二万五千元、八東中学校の生徒には二、三〇〇円、船岡中学校の生徒には二千元を補助しているが、この差をどのようにお考えか。

答 平木町長

最近、子どもを狙った凶悪犯罪が多発し、町民の皆様は非常にご心配のことと思う。その対策として本町では、青色パトロールカーによる巡回を始めたところだ。

また、中学生の通学補助に対し、補助内容にばらつきがあることも事実であり、現在見直しを検討中。



前土居一泰 議員

保育所・小中学校の 施設数は現状でよいか

町長 中学校は1学年
3学級は欲しい

問 町内の保育所、小学校、中学校の施設の数に現状の配置のまま最善と考えるか。

答 平木町長
少子化が進み、保育所は現在の一三施設を運営することは困難だろうと考える。小学校は一学年二学級以上、中学校は一学年最低三学級は欲しいと考えている。

問 少ない地域の生徒数はいくらか。

答 平木町長
船岡中学校は一八年度は一年生五〇人、二年生三一人、



改築が検討されている中央中学校

問 三年生四三人である。

問 町内のどの学校に行ってもよいという学校の自由選択制についてどう考えるか。

答 平木町長
学校選択制については時期尚早と考えている。

問 議会の特別小委員会と教育委員の意見交換会における教育委員の意見は、個人的な見解であったが「中学校は早期に統合」という意見が多かった。聞いておられるか。

答 平木町長
聞いていない。

問 役場の組織の在り方で必要なことは報告、連絡、相談と信賞必罰と思う。

水道メーター事件のとき、助役は一月二五日に通報を受けたが、町長への報告は二月三日だったという。このことをどう判断するか。助役を叱責したか。

水道料の五年間余にわたる過徴収の関係職員への対応はどうしたのか。

役場内の報告・相談等は どうなっているのか

町長 細かな問題でも十分
意思疎通を図りたい

答 平木町長
助役の判断のもとで調査ができるという見解の中での助役判断でして、今後は細かな問題でも意思疎通を十分図っていきたくと考えている。

水道料の件は、担当課長、補佐、以下四名を文書訓告にした。

問 助役は当初「水道メーターの通報は部外者であった。」と答えた。ところが、後日議員の追及で「本庁以外の勤務者だったのでそう答えた。本当は部内者であった。」と訂正された。

議員は軽く見られていたと思う。

答 平木町長
助役の思い違いか、的を得ていないものだ。

その他の質問
●経費節約
(町長公用車廃止等)

本庁舎問題 = 行革の最重要課題

町長 総合事務所のこともあり
今はおいておく



池本 強 議員

問 重点課題である本庁舎について、支所体制のあり方とともに、本庁舎を建てるのか、建てずにいくのか。行政改革の視点からこのまま許されるのか。

答 平木町長

大きな問題であるが、今現在はある庁舎を有効活用していくということで、他の諸課題を優先したい。将来的には本庁舎を基本とした行政になると考えるし、職員も減ってくる。この一〇年の中で問題が出ようかと思うが、今は庁舎問題はおいておきたい。

問

この行革の中、今のままの分庁方式、総合支所方式が何年もつのか。学校ではないが、本庁舎問題にしても建て建てないにしろ、半年、一年で町民合意が得られる問題ではない。町民の理解を得ながら、果敢に取り組む最重要課題と思うがどうか。

答 平木町長

そうだと思うが、ほかにやりたい仕事もある。八頭総合事務所が来年で降縮小される方向になるだろうと思うし、いろいろなことを考えながら進めるべきと考える。

統合問題はどう整理するのか、中学校建築

町長 議論を無視しては理解はいただけない

問 中央中学校の建築が、将来のあり方ともかわるが、中学校問題は どうする考えか。

答 平木町長

本年度予算で用地取得、一部造成工事費を組んでいる。今現在、教育を考える会、議会の特別委員会で議論をいただいている。耐力度の問題等もあり、早期に着手したいが、特に財源が一番の課題。今後は詳細設計ということになる。他の中学校をどうするか、議論を無視しての建築は、皆さんに理解いただけないのではないか。

問

問題は統合問題で、統合するということになれば、保護

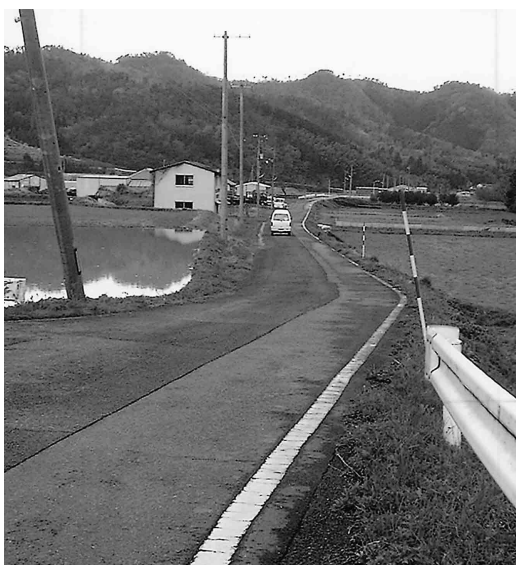
者、関係者の理解のもと、場所等が選定されてくるのではないかと。統合問題に一定の整理をしなければ、町民全体の合意は得られないのではないかと。

答 平木町長

統合の話があったとしても、即統合ということにはならない。かつて中央中学校は、名目統合で、三年間校舎に出てなかった。そういう流れもあるが、やはり財源問題があり土地のスペースもあり、建築に進んでいきたい。

その他の質問

- 行政改革の進捗を問う
- 具体的施策の取り組み（町道整備等）



整備が急がれる町道出合線（隼地区内）



小倉 一博 議員

公共交通の維持運営は

町長 公共交通を守るのは
行政の使命

問 公共交通の維持運営は厳しい状況にある。若桜鉄道に対する八頭町の助成措置は関係団体全体ではどうか。また、利用状況はどうか。

答 平木町長

自治体の出資割合は県一七%、鳥取市一〇%、八頭町四三%若桜町三〇%、平成一七年の八頭町の補助金は、近代化事業四五二万円、利用促進協議会六四万円、全体では近代化事業一、〇六〇万円余、国からも同額が出ている。利用は一日平均一、六二五人で八〇%が通学、五%が通勤。

問 固定客が八五%で、朝夕は混雑し昼間は客がない状態だがJRとの関係は。

答 平木町長

一一便のうち、朝一便がJR、若桜鉄道は郡家・鳥取間に六便乗り入れているが、この間の収入はJRに入っている。

問 日交バスとクローバーバスへの町の支援状況は。

答 平木町長

日交バスに南岸線も含めて四九八万円、クローバーバス

に一、二二〇万円補助。乗車密度が五人を切ると国の補助が減額となる。

問 公共交通の維持運営を考えるためにも、町民に情報を公開すべきではないか。

答 平木町長

交通弱者の交通手段を守るのは行政の使命と思うが、税金の投入がどれだけ許されるのかという思いもある。沿線自治体も含め見定めたい。



若桜鉄道「八頭高校前」駅

有害獣対策に実のなる木を 植林しては

町長 調査をして考えたい

問 クマやイノシシの被害状況や捕獲状況は。町費助成の現状は。

答 平木町長

農作物の被害が一六年度で一、二六二万円、一七年度が一二月末現在五二二万円と半減。

一六年度はイノシシ四一七頭、クマ四六頭、鹿一一頭、一七年度はイノシシ二二四頭、クマ一頭、鹿七頭を捕獲。電気柵、トタン等の補助が一六年度一、三八二万円、一七年度が一四四万円に対策費も半減した。

問 被害が少なかったのは森の木の実が豊作だったという人もいる。町内の町有林、国有林に実のなる広葉樹を植える考えはないか。

答 平木町長

町有林が四三ヘクタールあるが、三〇ヘクタールは植林済み。国有林も含めまだ植える場所がないか調査をしてみたい。

鳥取県の人権救済条例に 反対するべき

町長 条例の廃止は知事に
進言できない



川西 聡 議員

問

県の人権救済条例は、その目的が人権擁護にあるにもかかわらず、逆に基本的な人権を著しく制約する結果をもたらす。

条例が人権侵害として扱われる範囲は広範囲にわたり、最大限に尊重されるべき表現の自由もその対象である。

条例で差別的言動が規制されれば参加する義務のない任意の部落解放同盟の行う「確認・糾弾」はお墨付きを与えられ、住民間の差別発言問題に蔓延して当町は自由にものが言えない町になりかねない。故に、条例には反対すべきではないか。

答 平木町長

当町では、部落差別撤廃・人権擁護に関する条例に基づき、関係団体と一緒に差別解消に取り組んでおり、知事に対して廃止の進言はできない。

問

総務庁や法務省の見解は、確認・糾弾が自由な意見の封殺につながる主張している。

また、条例は問題点となっている弁護人を認めない点や社会的公表の点で確認・糾弾

と一致する。賛成できないと思うがどうか。

答 平木町長

確認・糾弾は同和問題を早く解消するための話し合いであると思う。人権問題の解消は、同和問題の解決なくしてはあり得ないと考えるが、確認・糾弾の問題点は以前のことに判断する。

中私都郵便局の集配業務 廃止計画に反対を

町長 集配業務量等の実情を
調査する

問

日本郵政公社は、平成一九年一〇月の民営化開始までに、過疎地や郡部にある九六六郵便局の集配業務をやめる方針を決めた。鳥取県の場合は廃止が全体五〇局の中二三局で廃止率は全国で二位であり、対象の中に中私都郵便局が含まれている。廃止で出る問題として、郵便物の集配頻度の減少や配達に日数がかかる等の実質的なサービス水準の低下がある。

また、高齢者の呼びかけ、子どもの安全対策（監視）のサービス低下も目に見えている。

岩美町や伯耆町長は廃止に懸念と不安を表明されている。

関係機関、関係者に計画の撤回を求めるべきと考えるがどうか。

答 平木町長

中私都の業務がなくなれば不在時の書留は郡家まで取りに行くことになる。保険や貯金も集配業務と一体となっており、町民には現状よりサービスが落ちるといふふうな話。民営化まではまだ移行期間があるが、中私都の集配業務の量が減少してどうなるのか。町民に辛抱してもらえないかどうか。業務量等の実情をよく調査をして考えていきたい。また、地元選出の国会及び県議会議員や町民にも話を聞かせてもらいたいと思っている。

その他の質問

- 肺炎球菌ワクチン接種の助成
- オストメイト（人工肛門）トイレの設置
- 大型可燃物処理施設の建設計画の変更



集配業務廃止予定の中私都郵便局



秋山 宏樹 議員

町道拡幅と水道管移設 要望についての対応は

町長 県の補助事業で今年度の
取り組みを行う

問

郡家地域の町道殿・中島線は利用頻度の割には道幅も狭く不便をきたしている。

現状の町道拡幅とあわせて水道管の移設要望が郡家殿・花区長連名で提出されている。町行政の対応はどのようになっているのか。

答 平木町長

総延長二二メートルのうち、九〇メートルが未改良であり、また、水道管も民有地に布設している。

土地使用貸借契約書を締結しているとはいえ、現状を見ると、この町道は一般的にも利用される関係者が多い。

将来を考えると、町の水道管が私有地にあるということについて、維持管理の面、あるいは管理者として道路改良の計画をすべきと思う。

一八年度単県補助の交付金制度の中に、この事業も入っており、県としての交付金の額も示されている経過がある。町道だから地元の負担金は一〇パーセントになる予定。

携帯電話不感地帯の解消 が急務と考えるが

町長 財政的に見てすぐには
取り組めない状況

問

携帯電話受信状況の改善を求める陳情書が八東校区区長会より出ている。不感地帯は山間部に多くあり、以前より指摘されているが、今だ対応がなされていない。町内の現状はどうか。平成一八年度から向こう三カ年間の総合計画実施計画の中に移动通信用鉄塔施設整備事業が載っているが、この事は三カ年の内に不感地帯をなくすという事なのか。指定管理者制度予定施設にふる里の森、姫路公園が入っているか。携帯が入るくらいの条件整備が必要と考えるが。

答

平木町長

町内の携帯電話不感地帯は小学校区単位で六地区、約二五〇世帯ある。情報サービスの均一化が図れていない現状の中、行政として何とかしたい思いはあるが、財政的にすぐには取り組めない現状も理解願いたい。計画にのせているのは是非やりたいという思いで、鋭意努力するということ。従前は業者が国の補助金の中で、一基あたり一、五〇〇万円から二、〇〇〇万円为建设している。ふる里の森、姫路公園での携帯電話使用は電波なり、線をつなぐ事において、大変な費用がかかり難しいと思う。



町道拡幅と水道管移設要望箇所（郡家殿地内）

現在の町行政の問題点は

町長 一体感をつくること



下田 敏夫 議員

問 町長は役場に勤められて四〇年、昨年選挙で首長となられた行政のプロ中のプロ。行政のプロから見ても、現在の町行政の問題点は何だと思われるか。

答 平木町長
現在の行政の課題は、一つの町としての意識の形成、一体感をつくることだと思っている。また、三町が独自に行ってきたことが、合併した一つの町として、本当にふさわしい規模なのかの検証。

問 住民のニーズが多様化するなか、職員削減と行政サービスの内容維持をどう両立させていく考えか。

答 平木町長
職員の数を減らして効率のよい住民サービスを心がける。施設・機構の統廃合とセットで進めなければ行政サービスの維持は困難と思われる。

問 行政サービスの効果的な提供はどうするのかという観点で職員数も含め早急に検討する。
行政改革は意識改革だと思

答 平木町長
職員が、皆さまからいただいた血税を本当に使わせていただいているという気持ちで、町民の目線の中でスピード感を持ち、迅速に、的確な仕事をすることが大切。

町民皆スポーツ運動の実施を

町長 町内施設を有効利用して

問 町民すべての人々が、健康で文化的に安全で快適に暮すために、また少子高齢社会を迎え、増え続ける医療費、介護保険料対策、健康づくりをテーマとして町民のコミュニケーションを図ることを目的として、町民皆スポーツ運動をするべきと考えるが

答 平木町長
今年には仮称ですが、森下広一マラソンをやると思う。町内には旧町からの運動場、野球場、グランドゴルフ場、体育館等充実した設備があり、これらを有効利用して、健康で元気に皆さんがなってもらいたい。友達、グループ同志、また、集落単位等でスポーツをしてもらい、明るく元気な町民を増やしたい。



エアロビクスで体づくり
(船岡トレーニングセンター)

問 町民皆スポーツ運動を広め定着させるために、町独自のスポーツマスター制度の創設は。

答 西山教育長
各集落の体育委員と四四名の町体育指導委員と、どう協働していくのか考えたい。

問 広く町民が楽しみながら健康になるための町民体操はつれないか。

答 平木町長
これからの課題であると思う。
その他の質問
●無縁者の納骨をする施設が必要では



小林 久幸 議員

保険料は何を基準に

町長 前年の給付実績を元に

問

平成一三年度より介護保険制度がスタート、多くの対象者がこの制度により施設・在宅サービス等、利用している。

介護保険がスタートした時点で比べると、利用者、給付額とも伸びている。

本町では、今年一八年度が改定の年である。合併協定書では、新町において段階的に調整を行い二二年度までに統一すると明記してあるが、どのような基準で改定するのか、また、郡家地域・船岡地域・八東地域の保険料はどれくらいになるのか。

答 平木町長

介護保険料については、合併協議会で決定しており、平成一八年度から平成二二年度までに保険料を統一することになっている。

一八年度は、一七年度の給付費の実績をもとにして、三年間の介護給付費を見込み算定している。

各地域の基準保険料は、郡家地域は四、二六八円・船岡地域三、八〇八円・八東地域三、五〇八円となり、更に、今回より地域支援事業費分一〇円が加算される。

本町の高齢者福祉は

町長 住み慣れた地域で生活を

問

介護保険制度の改正で創設する介護予防の拠点となる地域包括支援センターを、本町も設置を計画している。

センターの役目は、介護保険の対象者、高齢者、地域住民すべての心身の健康と維持、生活の安定、保健、医療、福祉の向上等生涯を通じた健康づくりの拠点となる地域の中核機関として位置づけられていると思う。

本町の地域包括支援センターが目指す高齢者福祉対策についてどのように考えているのか。

答

平木町長

福祉の施策として新予防給付事業では、寝たきり予防対策、運動指導、介護予防、訪問介護等、更に新しく運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の改善等を予定。

地域支援事業では転倒予防教室、栄養管理指導、外出支援サービス、生きがい活動支援通所、包括支援事業では、介護予防事業のマネージメント、総合相談、虐待の早期発見、防止などの権利擁護事業等、また、介護を必要とする人が住み慣れた地域で生活が継続できるように地域密着型サービスを創設する。



新設された地域包括支援センター



竹内 康紀 議員

八頭町行政のスリム化を早急に実現を

町長 いつまでも総合支所方式というわけには

問

八頭町は、類似団体と比較し、職員数が約一〇〇名多いとの資料がある。豊かな財政運営は望めない現況の中で、八頭町行政のスリム化を早急に実現することが望まれる。その方策は機構の改革である。

総合支所方式から本庁方式への移行、小学校、中学校のあり方、保育所の将来のあり方、保育所を含む給食サービスの方角性、社会教育施設のスリム化、さらに事務の効率化体制づくりが必要では。

町長は勇氣と英断を持って積極的の方角性を具体的に早急に示されるべきではないか。

答 平木町長

行政改革大綱を策定し、機構改革を含め実施計画をつくる。いつまでも総合支所方式というわけにはいかない。小・中学校の統合問題、保育所のあり方、給食センターを含めて改革を行っていく。職員数を単純には減らせない。行政改革推進委員で議論する。

問

二月に町職員組合が二九分間の時間内集会を行った。一般町民の感覚と、職員の間

に大きなずれがある。職員の間意識づけはいいがなものか。

答 平木町長

職員は町長の方ではなく町民の目線の中で仕事をして欲しいと話している。

町行政に平木カラーをどう表現されたか

町長 継続事業の完遂と新町の基礎づくりを

問

平木町長は、選挙公約を一七年度事業、一八年度予算において、どの様に表現したのか。

平木後援会パンフレットの中で、具体的な施策として継続事業の推進として、船岡小学校の建築は計画どおり進め、プール建設と中学校の改築は予定どおり一七年度着工を目指すとして明記されている。

船岡小学校プールは実現の運びとなったが、中央中学校については、基本設計に留まっている。今一つスピード感が不足しているのではないか。いかがなものか。

答 平木町長

一七年度においては、町内全体に懇話会として出向いて



國中保育所の病後児保育室

いった。合併協議会で決められた方角性、旧三町の継続事業をまず完遂したい。

一七年度は基礎づくりとして、総合計画をはじめ土台づくりをした。

子育て支援として、保育料は六割とし、土曜日保育の実現、病後児保育を行う。

学校教育では、複式学級の解消、三〇人学級の推進、安心して暮らせる町づくりとして、防災無線の整備、CATVの検討、中央中学校については、用地の買収、一部造成を行う。財政面も考えて判断する。

その他の質問

●バイケミ農法の検証

臨時会

八頭町議会第一回臨時会を
平成一八年一月三日の一日
限りの会期で開催した。

町長提出議案一件、議会議
出議案一件、合計二件を原案
どおり可決した。

平成一七年度一般会計補正
予算

豪雪による除雪費を追加す
るもの。

補正額 二、三六四万円
補正後予算額 四、一二〇万円

問 除雪についての苦情内容

答 は。

丁寧な除雪ができていない

ということ、旧町でやってい

た以上の路線について除雪で

きないかということ。



八頭町議会議員

梶 稔氏ご逝去

八頭町議会議員梶稔氏(徳丸)が三月九日亡くなられ
ました。

梶さんは、平成三年から旧八東町、八頭町の議会議員
として、旧八東町では議会議長、民生常任委員長、鳥取
県東部広域行政管理組合議会議員等、八頭町において
は教育福祉常任委員長を歴任され、町政推進に貢献さ
れました。

特に体育分野に力を注がれ、スポーツを通して町の
活性化に寄与された功績も多大了。

益々の活躍を期待しております。ここに謹んで冥福
をお祈りいたします。

八頭町議会構成

議 長	松 田 秋 夫	副 議 長	小 林 久 幸
-----	---------	-------	---------

監 査 委 員	前土居 一 泰
---------	---------

鳥取県東部広域行政 管理組合議会議員	松 田 秋 夫	林 展 正	●山本弘敏
八頭環境施設 組合議会議員	松 田 秋 夫	河 村 久 雄	林 展 正

	総務常任委員会	産業建設常任委員会	教育福祉常任委員会
委員長	●西尾節子	河村久雄	●山本弘敏
副委員長	●谷本正敏	森山大四郎	●林展正
委員	岡嶋正広	秋山宏樹	小倉一博
委員	鎌谷收	池本強	川西聡
委員	竹内康紀	中田明	小林久幸
委員	松田秋夫	桑村和夫	下田敏夫
委員	矢部博祥	前土居一泰	

	議会運営委員会
委員長	鎌谷收
副委員長	秋山宏樹
委員	川西聡
委員	河村久雄
委員	●西尾節子
委員	●山本弘敏

	議会広報特別委員会
委員長	矢部博祥
副委員長	小倉一博
委員	中田明
委員	桑村和夫
委員	小林久幸
委員	下田敏夫
委員	谷本正敏

注 ●印は3月議会定例会で選任

問 苦情に対する対応は。

答 委託除雪が初めての業者も

あり、業者と現地での対応が

必要。

問 必要で、除雪対象の路線の
見直しをされる気持ちはある
か。

答 一七年度は、一六年度の路
線と除雪機の台数で旧町単位
に除雪を行った。

今後、各集落に県・町・地

生活を守る生活道路の除雪

元負担で除雪機を整備してい
くことも考えていかなければ
ならない。

議会会議規則の改正

定例会における一般質問に

ついて一問一答方式とするこ
とに伴い質問回数を三回まで
とする制限を撤廃するもの。

常任委員会報告

三月議会定例会会期中、各常任委員会を開き、上程された条例・予算等を審議した。各常任委員会所属の平成一八年度の主要な事業は次のとおり。

総務常任委員会

男女共同参画推進事業

八頭町男女共同参画プランの実施事業として、政策決定過程への女性の積極的登用、啓発事業、リーダーの養成を行う。

部落差別撤廃、人権擁護事業

同和対策事業費、隣保館費で予算を組み、各地域同じ方向で進めたい。地域改善対策として部落解放同盟への補助のほか地域交流促進、人権啓発などを行う。

韓国子ども交流事業

八頭町内の六年生と横城郡（ヘンソングン）の子どもたち各一〇人が、お互いの国を理解するために、相互訪問し交流を図る。

行政研修生相互派遣事業

八頭町・横城郡の職員を相互派遣研修生として、10カ月

間研修する行政レベルでの交流を促進する。

議会議員韓国訪問、招へい事業

交流協定を調印した韓国横城郡を議員が訪問し、横城郡議会と意見交換することにより地方議会の活性化を図る。

また、横城郡議員を招へい



昨年12月交流協定に調印

産業建設常任委員会

農業委員会関係

新たな施策として「品目横断的経営安定対策」の下で、農地の流動化と、農地集積が課題となるため、毎年標準農地リース料（小作料）の検討が行われ、必要に応じて料金の改正が行われている。

町歌（音頭）製作事業
町民一体化のために、町歌を募集して製作する。

その他の事業で、多額の経

費を必要としているもの

問

情報政策費は多額の経費を使う計画であるが、ウエイトを占めているのは何か。

答

ほとんどが電算関係、通信運搬費（ネットワーク）、電算業務委託料、電算機使用料、管理費などである。

問

交通防犯対策費の防犯対策は、光熱費が多額であるがどうしてか。

答

八東地域では以前から一部防犯灯の電気代を町が支払っており、船岡地域では集落間だけ、郡地域では設置だけと差がありすぎる。五年以内には調整したいと思っている。

規則（案）

八頭町農業振興協議会設置

目的、八頭町農業を総合的に振興することであり、委員二〇人以上とされている。議員は法に基づくもの以外の審議会、委員会には加わらないとしている。



播種式の様子（徳丸体験農園）

中山間地直接支払い事業
前期、平成一二年から一六年は、急傾斜地、約一〇七ヘクタール。
後期、平成一七年から二一年は、急傾斜地、緩傾斜地合せで、約二六五ヘクタールと集落、面積ともに大幅に増加。
各集落の今後の取り組みにより一層の活性化が期待できる。

新嘗祭献穀

八頭町東、松田純一氏が献穀されることになり、五月に田植式、九月に抜穂式（収穫感謝祭）、一〇月に皇居での献納式、一一月二三日に宮中行事の新嘗祭（お供えと行事が行われる。）

農地・水・環境保全向上対策事業

本年モデル事業として、下坂で取り組まれる。

目的、農業の持続的発展を図るために、農地・水・環境の質的な向上が必要である。

地域ぐるみによる共同活動と農業者との営農活動を総合的に実施するものであり、地域（集落）と担い手を中心とする農業者との「車の両輪」をなし、自然環境機能を維持、増進することである。

地籍調査

現在実施中であり、八頭町一八二平方キロメートルに対して、四三平方キロメートルの二三・六％が終っているが、すべての地域の終了予定は平成四十七年ごろ。

公共下水・農業集落排水の処理委託料

現在、因幡環境整備（株）に委託している。国の積算基準が示されて内容を調査の下で委託をしているが、平成一八年度予算では、委託料総額で一億九、五〇〇万円であり、今後は入札等競争の原理が必要である。

教育福祉常任委員会

教育委員会関係

船岡小学校改築工事に平成一八年度完成に向け予算化。

校舎は、平成一七年七月に完成し、子どもたちは二月期から木の香り漂う新校舎で勉学に励んでいる。

プールは平成一七年度事業として現在工事が進んでいる。また、体育館は急きよ、国から平成一七年度事業として予算がつき、全額繰越として平成一八年度に建設できることとなった。

残すはグラウンドを含めた周辺整備だけとなったが、平成一八年度に予算化。船岡小学校は今年度で完成できる見込み。

中央・船岡・八東の三つの中学校にAED配備
郡家・船岡・八東の三つの保健センターに配備されているAED（電気ショックで止まっている心臓を動かす、自動体外式除細動器）を、八頭町内三つの中学校にも今年度予算で配備することになった。

中央中学校改築のための土地取得費が予算化。

保健課関係

老人福祉費

地域包括支援センターが、郡家保健センター内に設置された。今年四月から施行された介護保険法により、住み慣れた地域の中で相談を受けたり、高齢者を見守ったり、心身の状態に合わせた援助支援を包括的に担う、地域の中核機関として設けられたもの。なお、船岡及び八東保健センター内には相談窓口を設置している。

障害者福祉

施設に入所しておられる方が、一日だけ帰宅して家族や地域の方等と交流することにより、楽しいひとときを過ごしていただくことを目的として、里帰り事業を実施する。

小規模作業所支援事業

四月から障害者自立支援法が施行されている。八頭町内には二カ所の作業所があるが、船岡作業所は小規模



中央中学校改築に伴う土地取得予定地視察

た活動を行い、児童の健全な発達を図ることを目的とした放課後児童クラブ事業の充実を図った。

児童措置費

保護者に家庭生活の安全と児童の健全育成を図るため、これまで小学校三年生まで支給していた児童手当を今年四月から、小学校六年生まで支給することになった。

保育所費

今年四月から安部・船岡・たから・郡家の各保育所で、土曜日午後保育事業を実施することになった。

また、児童が病気にかかり、回復期にあるものの、体力的に集団生活が困難なため、保育所に行けない期間、一時的に保育を行う病後児保育を国中保育所で実施。

福祉関係

社会福祉施設費

作業所二型から授産施設へ、パレアナ作業所は小規模作業所一型から二型へと、それぞれ移行し、受け入れ態勢を整えている。

今年七月（予定）から八東地域福祉センターの管理を

多様化する住民のニーズに効果的・効率的に対応するため、民間事業者等の参入を可能とした指定管理者制度を導入し、福祉の増進と住民サービスの向上、経費の節減を図る。

児童福祉総務費

小学校低学年児童を対象に、放課後、遊びを中心とし

みな様の声



議員への期待

船岡 西尾 精一郎 さん
 議会は、当然ながら町民の意向を踏まえて町政の進むべき方向を正して行く役目があると思います。その為には、議員個々の思想信条をしっかりと持って、町民がどんな願いを持っているかということ常を把握し、それを議会を通して実現するよう努めてほしいと思います。そしてそのことが町民によくわかるのは「一般質問」の場ですから、この場を大事に利用して欲しいのです。その意味でも発言者が多いのは歓迎です。

また、町長との問答形式になったことは聞く方にはよくわかってよいと思います。しかし、内容的に重複した質問があつて時間の無駄があるように思われますので、同一内容は協定して代表が質問するというようなことは出来ないものでしょうか。

今一つ、合併して日が浅いということもありますが、旧町の立場にこだわらないで、議員から進んでそういう枠を取り去る努力をして欲しいと思います。八頭町という一つの視点に立って。



新鮮な気持ちで議会傍聴

山田 倉田 伊早子 さん
 新たな思いで第1回の議会傍聴以来、12月・3月と傍聴いたしました。

議場全体が今後の町づくりのため真剣に取り組み、その力強い姿勢に圧倒されました。

12月議会より一問一答方式となり、初回はごちなさが見られましたが、やり取りの内容がよく分かり理解しやすくなったと思います。(質問の時間配分等一工夫してほしいが・・・)

私達八頭町女性団体連絡協議会では、年間事業として町議会傍聴を取り入れ、町政を身近に見つめる機会ととらえています。団体相互が横の連携を取り合うと共に、防災無線放送も有効利用して年4回の議会傍聴を実施しています。

この度、3月議会へは、下私都改善センター「加工コース反省会」の一環として10人余りで傍聴いたしました。

初めての人も多く「町政の生の声が聞けた」議員さんの顔もよく分かった」等々感動の音が聞かれ、新鮮な気持ちで議会傍聴ができたと思います。

町民代表の議員さんの活躍の場を確めるのも大切な町民の姿勢ではないでしょうか。



伊蘇乃佐只神社麒麟獅子舞(安井宿)

議会の傍聴をお待ちしています。

傍聴は、申込書に住所、氏名を記入していただくだけで、簡単にできます。傍聴席は、先着の方25席です。委員会も傍聴できます。手続きは本会議と同じです。ただし、傍聴席は委員会室の広さにより異なります。

議会や議会だよりへのご意見をお寄せください。

議会に関するお問い合わせ・ご意見は 八頭町議会事務局へ
 〒680-0495 八頭町船岡539 船岡庁舎
 TEL(0858)72-3975 FAX(0858)73-0290

編集後記

議会初日の三月九日に、梶稔教育福祉常任委員長が、突然永眠されました。はじめての委員会のとき「合併しただけ船岡だ、八東だ、郡家だ」と言っただけに、ええ町をつくらあで」といわれた言葉が強く心に残っています。ご冥福をお祈りいたします。

合掌

一般会計予算をはじめとする一八年度の予算が可決。前年度対比七億六〇〇万円、率にして、七・三%の減という大変厳しい予算となっています。これからも、毎年厳しくなることが予想されますが、「ピンチはチャンス」といいます。こういうときにこそ町民皆様の豊富な経験と、優れた知恵が必要で。

後ろ向きに考えるのではなく、みんなでええ町をつくるためのご提案、ご意見を議会事務局、または議員までお寄せください。「人が輝き、集い、夢広がる八頭町」を町民みんなが、一緒になって創りましょう。お待ちしております。

議会広報特別委員会

委員 下田敏夫